

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび「ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）」は、2020年3月25日に第216期の決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第211期～第216期）の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2002年3月26日から、原則として無期限です。	
運用方針	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等には、マザーファンドの利子・配当収入等のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当収入等を含むものとします。 （ファンドの分配対象収益の範囲には、売買益（評価益を含みます。）を含みません。） 分配対象額の範囲内で、1万円当たり1円単位で安定的な分配を行うことを基本とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案し、決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

ワールド・ソブリンインカム

愛称 十二単衣

追加型投信／内外／債券



第211期（決算日 2019年10月25日） 第214期（決算日 2020年1月27日）
第212期（決算日 2019年11月25日） 第215期（決算日 2020年2月25日）
第213期（決算日 2019年12月25日） 第216期（決算日 2020年3月25日）

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	達 金 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率			
	円		円	%	ポイント	%	%	百万円
187期(2017年10月25日)	8,539		30	△0.4	422.79	0.2	93.7	88,801
188期(2017年11月27日)	8,480		20	△0.5	421.08	△0.4	93.4	88,126
189期(2017年12月25日)	8,512		20	0.6	424.25	0.8	96.1	87,800
190期(2018年1月25日)	8,417		20	△0.9	418.88	△1.3	91.2	86,224
191期(2018年2月26日)	8,091		20	△3.6	407.56	△2.7	95.9	81,758
192期(2018年3月26日)	8,011		20	△0.7	406.51	△0.3	89.8	80,169
193期(2018年4月25日)	8,148		20	2.0	415.38	2.2	93.2	80,301
194期(2018年5月25日)	8,054		20	△0.9	407.80	△1.8	90.1	78,834
195期(2018年6月25日)	8,048		20	0.2	409.90	0.5	91.5	78,135
196期(2018年7月25日)	8,144		20	1.4	414.56	1.1	84.0	78,062
197期(2018年8月27日)	8,125		20	0.0	413.56	△0.2	97.0	76,818
198期(2018年9月25日)	8,164		20	0.7	416.87	0.8	94.1	76,667
199期(2018年10月25日)	7,971		20	△2.1	410.49	△1.5	84.6	74,504
200期(2018年11月26日)	8,024		20	0.9	412.23	0.4	94.5	74,986
201期(2018年12月25日)	7,866		20	△1.7	411.93	△0.1	89.2	73,535
202期(2019年1月25日)	7,854		20	0.1	412.05	0.0	84.4	73,686
203期(2019年2月25日)	7,939		20	1.3	417.33	1.3	91.2	75,128
204期(2019年3月25日)	7,934		20	0.2	419.02	0.4	87.3	74,441
205期(2019年4月25日)	7,971		20	0.7	422.71	0.9	92.8	74,725
206期(2019年5月27日)	7,854		20	△1.2	418.83	△0.9	87.4	73,788
207期(2019年6月25日)	7,888		20	0.7	423.31	1.1	93.7	73,889
208期(2019年7月25日)	7,877		20	0.1	424.60	0.3	85.7	74,598
209期(2019年8月26日)	7,794		20	△0.8	426.33	0.4	96.7	75,231
210期(2019年9月25日)	7,849		20	1.0	430.03	0.9	94.8	76,289
211期(2019年10月25日)	7,928		20	1.3	432.08	0.5	92.2	78,844
212期(2019年11月25日)	7,879		20	△0.4	429.68	△0.6	89.5	80,900
213期(2019年12月25日)	7,869		20	0.1	430.71	0.2	88.7	83,014
214期(2020年1月27日)	7,910		20	0.8	435.53	1.1	88.4	85,094
215期(2020年2月25日)	8,070		20	2.3	443.44	1.8	90.5	89,133
216期(2020年3月25日)	7,885		20	△2.0	441.57	△0.4	93.6	87,867

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第211期	(期 首) 2019年9月25日	円 7,849	% —	ポイント 430.03	% —	% 94.8	% —
	9月末	7,861	0.2	430.98	0.2	92.4	—
	(期 末) 2019年10月25日	7,948	1.3	432.08	0.5	92.2	—
第212期	(期 首) 2019年10月25日	7,928	—	432.08	—	92.2	—
	10月末	7,951	0.3	432.10	0.0	94.4	—
	(期 末) 2019年11月25日	7,899	△0.4	429.68	△0.6	89.5	—
第213期	(期 首) 2019年11月25日	7,879	—	429.68	—	89.5	—
	11月末	7,937	0.7	432.72	0.7	93.0	—
	(期 末) 2019年12月25日	7,889	0.1	430.71	0.2	88.7	—
第214期	(期 首) 2019年12月25日	7,869	—	430.71	—	88.7	—
	12月末	7,932	0.8	433.70	0.7	88.3	—
	(期 末) 2020年1月27日	7,930	0.8	435.53	1.1	88.4	—
第215期	(期 首) 2020年1月27日	7,910	—	435.53	—	88.4	—
	1月末	7,951	0.5	436.15	0.1	82.7	—
	(期 末) 2020年2月25日	8,090	2.3	443.44	1.8	90.5	—
第216期	(期 首) 2020年2月25日	8,070	—	443.44	—	90.5	—
	2月末	8,029	△0.5	443.48	0.0	76.2	—
	(期 末) 2020年3月25日	7,905	△2.0	441.57	△0.4	93.6	—

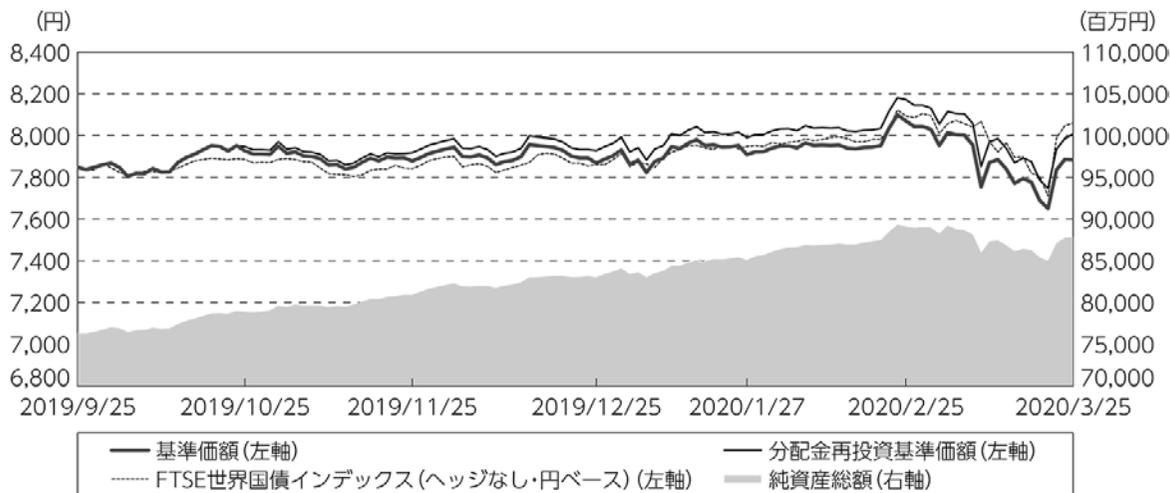
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2019年9月26日～2020年3月25日）



第211期首：7,849円

第216期末：7,885円（既払分配金（税引前）：120円）

騰落率：2.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首（2019年9月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米国の債券利回りが大幅に低下し、債券価格が大幅に上昇したこと。
- ・米ドルとユーロが対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ユーロ圏と日本の債券利回りが上昇し、債券価格が下落したこと。
- ・オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドが対円で下落したこと。

投資環境

(2019年9月26日～2020年3月25日)

〈投資国の債券市場〉

投資国の債券市場では、米中貿易摩擦への懸念が徐々に後退したことや、世界的な景気底入れ観測が高まったことを受けて、2019年末にかけて債券利回りが上昇（価格は下落）しました。その後、2020年に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、大幅な利下げが実施された米国を筆頭に各投資国の債券利回りが急低下（価格は急上昇）する展開となりました。しかし、3月中旬以降は、投資家が価格変動の大きい長期債を売却し手元資金を確保する動きを強めたことなどから、各国の長期債利回りが一時急上昇するなど不安定な動きとなりました。この結果、当作成期における各国の10年国債利回りは、米国とカナダが大幅に低下する一方、ユーロ圏各国と日本の上昇が顕著となるなどまちまちな動きとなりました。

〈為替市場〉

為替市場では、米中貿易摩擦やイギリスの合意なき欧州連合（EU）離脱への懸念が徐々に後退したことを受けて、2019年中は投資通貨に対し総じて緩やかな円安が進行しました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、各投資通貨が乱高下する展開となりました。3月上旬にかけては、世界的な株安とともに投資家のリスク回避の動きが強まり、投資通貨に対し円が全面高となりました。しかしその後は、多くの投資家や企業が手元資金を確保する動きを強める中で、基軸通貨である米ドルに対する需要が急速に高まり、米ドルが対円で急反発することとなりました。一方、オーストラリアドルが一時対円で急落するなど、通貨間のパフォーマンス格差が顕著となりました。この結果、当作成期においては、米ドルとユーロが対円で上昇する一方、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドが対円で下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年9月26日～2020年3月25日)

〈ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）〉

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

7カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、5.01年～8.14年の範囲内での推移となり、作期末は7.00年となりました。当作成期においては、2019年12月にイタリア国債への投資を再開しました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当作成期間においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は78.1%～97.0%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当作成期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、円と米ドルは低め、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドは高め、ユーロは概ね同程度となりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

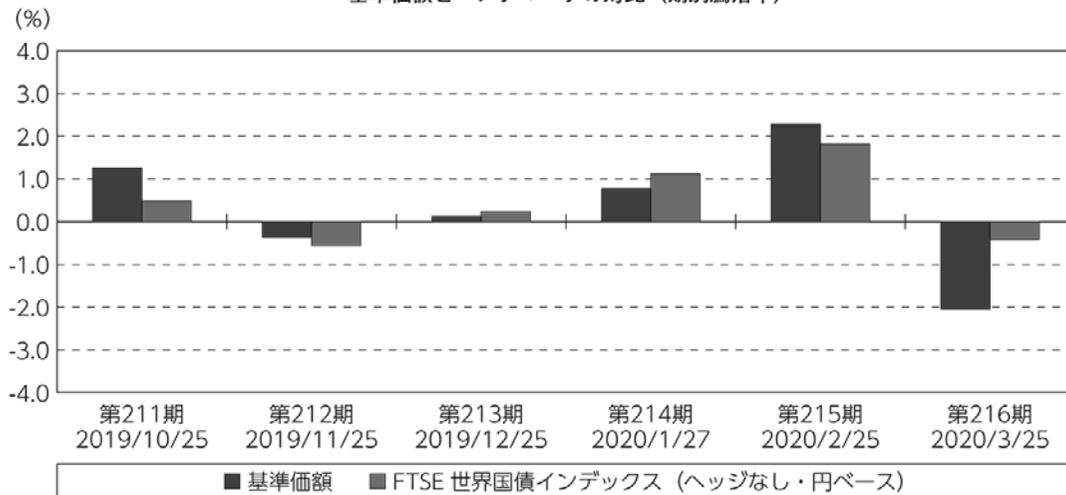
※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年9月26日～2020年3月25日）

分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.7%下回りました。各投資国の債券利回りがまちまちな動きとなる中で、債券要因（保有債券の価格変動と利息収入の合計）はベンチマークを上回るパフォーマンスとなりました。ベンチマークと比較し、日本国債への投資によるマイナスが小さかったことなどが貢献しました。一方、為替要因は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドルやカナダドルの投資比率を高めて推移させたことに加え、作成期末にかけて米ドルが急反発する場面で米ドルの投資比率が低かったことなどから、ベンチマークを下回るパフォーマンスとなりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

分配金

（2019年9月26日～2020年3月25日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利息・配当等収益等の全額としております。
 当作成期間におきましては、毎期1万口当たり20円（税引前）、合計120円（税引前）の分配を行いました。なお、
 収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期	第216期
	2019年9月26日～ 2019年10月25日	2019年10月26日～ 2019年11月25日	2019年11月26日～ 2019年12月25日	2019年12月26日～ 2020年1月27日	2020年1月28日～ 2020年2月25日	2020年2月26日～ 2020年3月25日
当期分配金 （対基準価額比率）	20 0.252%	20 0.253%	20 0.254%	20 0.252%	20 0.247%	20 0.253%
当期の収益	20	18	15	20	18	12
当期の収益以外	—	1	4	—	1	7
翌期繰越分配対象額	199	209	216	225	233	232

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）を筆頭に各中央銀行による大幅な利下げや国債等の資産購入などの大胆な金融緩和策が打ち出されており、当面投資国の債券利回りが低位で推移する展開を想定しています。一方、各国政府は新型コロナウイルスの感染拡大防止や景気失速回避のために、巨額の財政出動に踏み切る姿勢を示しています。このため、今後新型コロナウイルスの感染拡大に収束の兆しが見え始めることとなれば、景気回復期待の高まりとともに、各国政府の財政悪化や国債増発による債券需給悪化が意識され、投資国の債券利回りに上昇圧力が強まる展開になると想定されます。為替市場では、先進国各国の政策金利が概ね0%近辺に収れんするなど、円相場を取り巻く投資環境が大きく変化しました。当面は各国の政策金利の変更余地が小さいため、金利動向が為替市場に与える影響が低下する一方、株式等のリスク資産への投資や直接投資に関連する資金の流れが影響力を増してくると見えています。また、足元では基軸通貨である米ドルに対する需要が急増し、米ドルと米ドル以外の通貨とのパフォーマンス格差が鮮明となりました。このため、当面は米ドルに対する需要の強さや米ドル相場の動向が為替市場の最大の注目点と考えています。

（運用方針）

<ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデレレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

（2019年9月26日～2020年3月25日）

項 目	第211期～第216期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 46	% 0.574	(a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(22)	(0.273)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(22)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.009	(b)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	47	0.583	
作成期間中の平均基準価額は、7,943円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

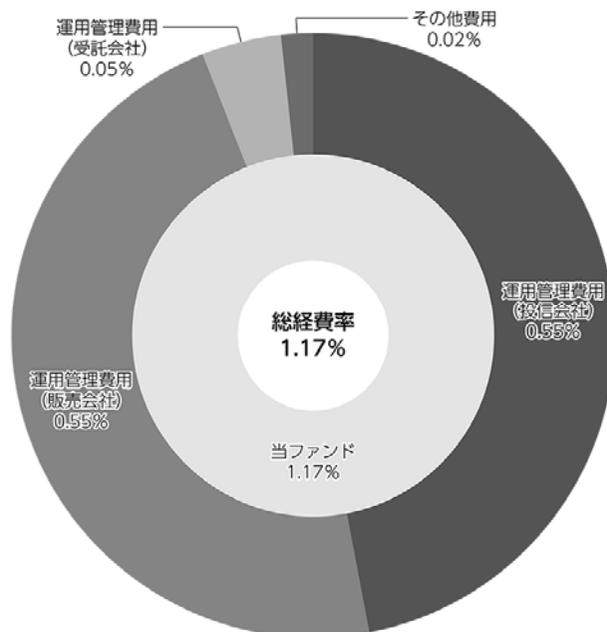
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年9月26日～2020年3月25日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第211期～第216期			
		設		約	
		口	金	口	金
		数	額	数	額
		千口	千円	千口	千円
ワールド・ソブリンインカム	マザーファンド	4,679,986	9,334,905	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年9月26日～2020年3月25日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）>
該当事項はございません。

<ワールド・ソブリンインカム マザーファンド>

区	分	第211期～第216期					
		買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債		151,617	1,033	0.7	140,920	1,038	0.7

平均保有割合 96.4%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。
(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2020年3月25日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第210期末	第216期末	
		口	口	評 価 額
		数	数	額
		千口	千口	千円
ワールド・ソブリンインカム	マザーファンド	38,655,826	43,335,812	87,213,322

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2020年3月25日現在）

項 目	第216期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	87,213,322	98.8
コール・ローン等、その他	1,038,607	1.2
投資信託財産総額	88,251,929	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、作成期間末における外貨建純資産（79,893,331千円）の投資信託財産総額（102,430,734千円）に対する比率は78.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=111.16円、1カナダドル=76.87円、1ユーロ=119.93円、1イギリスポンド=130.84円、1オーストラリアドル=66.22円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第211期末	第212期末	第213期末	第214期末	第215期末	第216期末
	2019年10月25日現在	2019年11月25日現在	2019年12月25日現在	2020年1月27日現在	2020年2月25日現在	2020年3月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	79,166,215,763	81,209,330,586	83,362,071,235	85,450,396,184	89,487,090,455	88,251,929,003
コール・ローン等	903,135,194	713,039,139	873,614,298	951,035,841	799,843,850	1,038,606,039
ワールド・ソブリンインカムマザーファンド(評価額)	78,263,080,569	80,496,291,447	82,488,456,937	84,499,360,343	88,687,246,605	87,213,322,964
(B) 負債	321,312,797	308,815,038	347,399,574	355,905,964	353,866,776	384,100,799
未払収益分配金	198,904,482	205,347,214	210,991,590	215,166,530	220,890,225	222,877,531
未払解約金	49,017,821	25,082,381	58,047,063	52,575,506	52,882,556	80,914,767
未払信託報酬	73,037,925	78,008,497	77,983,692	87,741,793	79,710,126	79,917,600
未払利息	545	681	1,582	737	353	647
その他未払費用	352,024	376,265	375,647	421,398	383,516	390,254
(C) 純資産総額(A-B)	78,844,902,966	80,900,515,548	83,014,671,661	85,094,490,220	89,133,223,679	87,867,828,204
元本	99,452,241,352	102,673,607,467	105,495,795,173	107,583,265,386	110,445,112,668	111,438,765,816
次期繰越損益金	△20,607,338,386	△21,773,091,919	△22,481,123,512	△22,488,775,166	△21,311,888,989	△23,570,937,612
(D) 受益権総口数	99,452,241,352口	102,673,607,467口	105,495,795,173口	107,583,265,386口	110,445,112,668口	111,438,765,816口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,928円	7,879円	7,869円	7,910円	8,070円	7,885円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第211期20,607,338,386円、第212期21,773,091,919円、第213期22,481,123,512円、第214期22,488,775,166円、第215期21,311,888,989円、第216期23,570,937,612円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第211期0.7928円、第212期0.7879円、第213期0.7869円、第214期0.7910円、第215期0.8070円、第216期0.7885円です。

(注) 当ファンドの第211期首元本額は97,195,203,173円、第211～216期中追加設定元本額は19,664,881,274円、第211～216期中一部解約元本額は5,421,318,631円です。

○損益の状況

項 目	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期	第216期
	2019年9月26日～ 2019年10月25日	2019年10月26日～ 2019年11月25日	2019年11月26日～ 2019年12月25日	2019年12月26日～ 2020年1月27日	2020年1月28日～ 2020年2月25日	2020年2月26日～ 2020年3月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 11,851	△ 22,870	△ 18,619	△ 24,084	△ 8,258	△ 18,475
受取利息	1,754	—	—	—	601	186
支払利息	△ 13,605	△ 22,870	△ 18,619	△ 24,084	△ 8,859	△ 18,661
(B) 有価証券売買損益	1,047,184,112	△ 202,381,842	167,679,529	723,568,395	2,060,528,497	△ 1,720,173,877
売買益	1,049,042,596	1,985,243	170,226,427	726,914,555	2,063,352,232	24,378,497
売買損	△ 1,858,484	△ 204,367,085	△ 2,546,898	△ 3,346,160	△ 2,823,735	△ 1,744,552,374
(C) 信託報酬等	△ 73,390,384	△ 78,387,223	△ 78,359,727	△ 88,163,415	△ 80,094,482	△ 80,308,502
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	973,781,877	△ 280,791,933	89,301,183	635,380,896	1,980,425,757	△ 1,800,500,854
(E) 前期繰越損益金	△12,701,889,341	△11,842,547,105	△12,218,468,688	△12,263,201,317	△11,785,602,318	△ 9,862,026,758
(F) 追加信託差損益金	△ 8,680,326,440	△ 9,444,405,665	△10,140,964,417	△10,645,788,215	△11,285,822,203	△11,685,532,469
(配当等相当額)	(1,519,508,050)	(1,711,313,219)	(1,890,002,951)	(2,020,669,120)	(2,184,386,212)	(2,291,879,910)
(売買損益相当額)	(△10,199,834,490)	(△11,155,718,884)	(△12,030,967,368)	(△12,666,457,335)	(△13,470,208,415)	(△13,977,412,379)
(G) 計 (D+E+F)	△20,408,433,904	△21,567,744,705	△22,270,131,922	△22,273,608,636	△21,090,998,764	△23,348,060,081
(H) 収益分配金	△198,904,482	△ 205,347,214	△ 210,991,590	△ 215,166,530	△ 220,890,225	△ 222,877,531
次期繰越損益金 (G+H)	△20,607,338,386	△21,773,091,919	△22,481,123,512	△22,488,775,166	△21,311,888,989	△23,570,937,612
追加信託差損益金	△ 8,680,326,440	△ 9,444,405,665	△10,140,964,417	△10,645,788,215	△11,285,822,203	△11,685,532,469
(配当等相当額)	(1,525,225,420)	(1,718,203,978)	(1,896,108,835)	(2,025,411,872)	(2,188,513,586)	(2,296,071,641)
(売買損益相当額)	(△10,205,551,860)	(△11,162,609,643)	(△12,037,073,252)	(△12,671,200,087)	(△13,474,335,789)	(△13,981,604,110)
分配準備積立金	3,466,159,166	3,424,088,161	3,348,669,984	3,344,751,358	3,316,835,473	3,180,446,323
繰越損益金	△15,393,171,112	△15,752,774,415	△15,688,829,079	△15,187,738,309	△13,342,902,259	△15,065,851,466

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期	第216期
(a) 配当等収益(費用控除後)	240,155,551円	187,184,128円	165,426,768円	231,627,451円	208,772,600円	138,956,260円
(b) 収益調整金中のその他収益調整金	1,525,225,420円	1,718,203,978円	1,896,108,835円	2,025,411,872円	2,188,513,586円	2,296,071,641円
(c) 分配準備積立金中の配当等収益	414,861,642円	452,966,665円	431,012,686円	383,102,075円	397,675,738円	379,459,098円
分配対象収益(a+b+c)	2,180,242,613円	2,358,354,771円	2,492,548,289円	2,640,141,398円	2,794,961,924円	2,814,486,999円
分配対象収益(1万円当たり)	219円	229円	236円	245円	253円	252円
分配金額	198,904,482円	205,347,214円	210,991,590円	215,166,530円	220,890,225円	222,877,531円
分配金額(1万円当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期	第216期
1 万円当たり分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド
第18期 運用状況のご報告
決算日：2020年3月25日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	騰落	率	(ベンチマーク) 騰落	率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
14期(2016年3月25日)	19,201	△4.8	411.68	△2.5	90.0	—	105,452
15期(2017年3月27日)	18,209	△5.2	397.19	△3.5	85.2	—	92,361
16期(2018年3月26日)	18,811	3.3	406.51	2.3	90.2	—	83,339
17期(2019年3月25日)	19,416	3.2	419.02	3.1	87.9	—	77,051
18期(2020年3月25日)	20,125	3.7	441.57	5.4	94.3	—	90,359

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

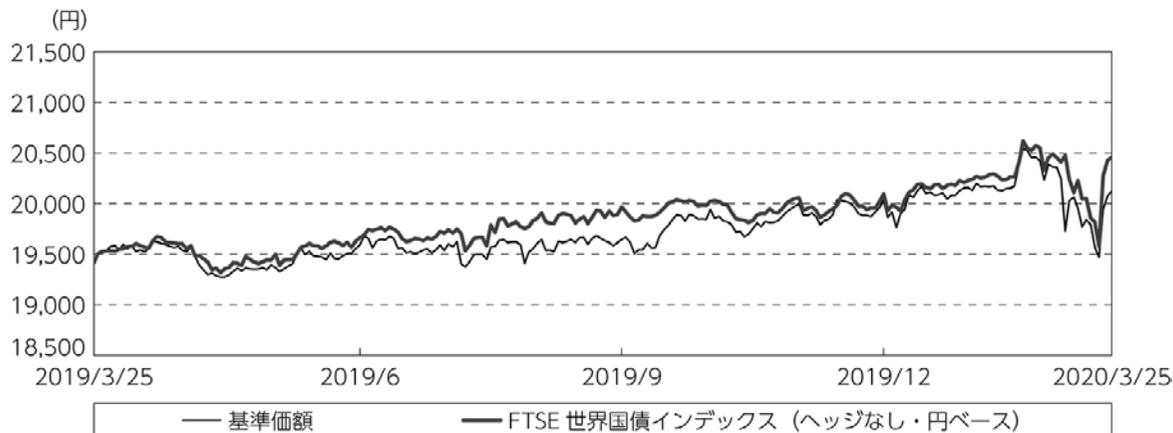
年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	(ベンチマーク) 騰落	率		
(期首) 2019年3月25日	円	%	ポイント	%	%	%
3月末	19,416	—	419.02	—	87.9	—
4月末	19,576	0.8	421.60	0.6	84.8	—
5月末	19,476	0.3	420.46	0.3	90.4	—
6月末	19,369	△0.2	420.77	0.4	87.9	—
7月末	19,591	0.9	424.27	1.3	94.2	—
8月末	19,574	0.8	425.39	1.5	85.7	—
9月末	19,643	1.2	429.64	2.5	91.1	—
10月末	19,646	1.2	430.98	2.9	93.0	—
11月末	19,944	2.7	432.10	3.1	95.0	—
12月末	19,978	2.9	432.72	3.3	93.7	—
2020年1月末	20,035	3.2	433.70	3.5	88.9	—
2月末	20,155	3.8	436.15	4.1	83.3	—
(期末) 2020年3月25日	20,425	5.2	443.48	5.8	76.6	—
	20,125	3.7	441.57	5.4	94.3	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年3月26日～2020年3月25日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

(注) ベンチマークは、期首（2019年3月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・日本を除く投資国の債券利回りが低下し、価格が上昇したこと。
- ・米ドルが対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・米ドル以外の投資通貨が対円で下落したこと。

投資環境

(2019年3月26日～2020年3月25日)

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）など主要先進国の中央銀行が金融緩和姿勢を鮮明にしたことに加え、米中貿易摩擦の激化等を背景に世界的な景気後退懸念が高まったことから、2019年8月にかけて債券利回りが大幅に低下（価格は上昇）しました。その後、米中貿易摩擦への懸念が徐々に後退したことや、世界的な景気底入れ観測が高まったことを受けて、年末にかけては債券利回りが上昇（価格は下落）傾向となりました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、大幅な利下げが実施された米国を筆頭に各投資国の債券利回りが急低下する展開となりました。しかし、3月中旬以降は、投資家が価格変動の大きい長期債を売却し手元資金を確保する動きを強めたことなどから、各国の長期債利回りが一時急上昇するなど不安定な動きとなりました。この結果、当期における各国の10年国債利回りは、小幅な上昇となった日本を除き、全ての投資国において低下しました。特に、米国、オーストラリア、イタリアは大幅な利回り低下となりました。

＜為替市場＞

為替市場では、海外金利の低下に伴う内外金利差の縮小（ドイツなど一部の国に対しては、内外金利差のマイナス幅の拡大）に加え、米中貿易摩擦の激化に伴う投資家のリスク回避の動きを背景に、2019年8月にかけて投資通貨に対し円が全面高となりました。しかしその後は、米中貿易摩擦やイギリスの合意なき欧州連合（EU）離脱への懸念が徐々に後退したことを受けて、安全資産として円を買う動きが反転し、2019年中は投資通貨に対し総じて緩やかな円安が進行しました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、各投資通貨が乱高下する展開となりました。3月上旬にかけては、世界的な株安とともに投資家のリスク回避の動きが強まり、投資通貨に対し円が全面高となりました。しかしその後は、多くの投資家や企業が手元資金を確保する動きを強める中で、基軸通貨である米ドルに対する需要が急速に高まり、米ドルが対円で急反発することとなりました。一方、オーストラリアドルが一時対円で急落するなど、通貨間のパフォーマンス格差が顕著となりました。この結果、当期における各投資通貨の対円レートは、米ドルが小幅な上昇となった以外は、オーストラリアドルを筆頭に全ての投資通貨が下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年3月26日～2020年3月25日)

7カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション^{*}を変化させました。デュレーションは、5.01年～8.14年の範囲内での推移となり、期末は7.00年となりました。当期においては、2019年12月にイタリア国債への投資を再開しました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期間においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は78.1%～97.0%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期においては、ベンチマークと比較し、円と米ドルは低め、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドは高め、ユーロは概ね同程度となりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

^{*}デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年3月26日～2020年3月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を1.7%下回りました。日本を除く各投資国の債券利回り低下が鮮明となる中で、ベンチマークと比較し、外国債券の投資比率を高め維持したことがプラス要因となりました。一方、米ドル以外の投資通貨が対円で下落する中で、ベンチマークと比較し、米ドル以外の外国通貨の投資比率を高め維持したことがマイナス要因となりました。

今後の運用方針**(投資環境の見通し)**

投資国の債券市場では、FRBを筆頭に各中央銀行による大幅な利下げや国債等の資産購入などの大胆な金融緩和策が打ち出されており、当面投資国の債券利回りが低位で推移する展開を想定しています。一方、各国政府は新型コロナウイルスの感染拡大防止や景気失速回避のために、巨額の財政出動に踏み切る姿勢を示しています。このため、今後新型コロナウイルスの感染拡大に収束の兆しが見え始めることとなれば、景気回復期待の高まりとともに、各国政府の財政悪化や国債増発による債券需給悪化が意識され、投資国の債券利回りに上昇圧力が強まる展開になると想定されます。為替市場では、先進国各国の政策金利が概ね0%近辺に収れんするなど、円相場を取り巻く投資環境が大きく変化しました。当面は各国の政策金利の変更余地が小さいため、金利動向が為替市場に与える影響が低下する一方、株式等のリスク資産への投資や直接投資に関連する資金の流れが影響力を増してくると見えています。また、足元では基軸通貨である米ドルに対する需要が急増し、米ドルと米ドル以外の通貨とのパフォーマンス格差が鮮明となりました。このため、当面は米ドルに対する需要の強さや米ドル相場の動向が為替市場の最大の注目点と考えています。

(運用方針)

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年3月26日～2020年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.012	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	2	0.012	
期中の平均基準価額は、19,784円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2019年3月26日～2020年3月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 22,748,750	千円 19,729,525
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 1,028,053	千米ドル 952,841 (15,000)
	カナダ	国債証券	千カナダドル 244,673	千カナダドル 229,567
国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	77,341	77,204
	イタリア	国債証券	107,838	81,685
	フランス	国債証券	169,235	196,829
	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 167,272	千イギリスポンド 148,300
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 820,521	千オーストラリアドル 760,177

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月26日～2020年3月25日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	279,111	1,033	0.4	260,640	1,038	0.4

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2020年3月25日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
国債証券	千円 5,500,000	千円 6,110,000	% 6.8	% —	% 6.8	% —	% —	
合 計	5,500,000	6,110,000	6.8	—	6.8	—	—	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第356回利付国債 (10年)	0.1	2,000,000	2,015,140	2029/9/20
第357回利付国債 (10年)	0.1	2,000,000	2,013,580	2029/12/20
第32回利付国債 (30年)	2.3	1,500,000	2,081,280	2040/3/20
合 計		5,500,000	6,110,000	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 279,000	千米ドル 309,451	千円 34,398,635	% 38.1	% —	% 22.4	% 1.0	% 14.7
カナダ	千カナダドル 69,000	千カナダドル 72,940	5,606,915	6.2	—	1.3	—	4.9
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	68,000	86,043	10,319,199	11.4	—	7.7	3.7	—
イタリア	22,000	24,567	2,946,341	3.3	—	—	3.3	—
フランス	74,000	86,901	10,422,093	11.5	—	11.5	—	—
イギリス	千イギリスポンド 49,000	千イギリスポンド 66,231	8,665,732	9.6	—	4.7	2.5	2.4
オーストラリア	千オーストラリアドル 85,000	千オーストラリアドル 102,256	6,771,403	7.5	—	5.8	1.6	—
合 計	—	—	79,130,321	87.6	—	53.6	12.1	21.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末					償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ	%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	US TREASURY N/B 1.125	1.125	14,000	14,200	1,578,550	2022/2/28
	US TREASURY N/B 1.125	1.125	8,000	8,233	915,263	2025/2/28
	US TREASURY N/B 1.5	1.5	44,000	46,695	5,190,616	2030/2/15
	US TREASURY N/B 1.75	1.75	40,000	43,275	4,810,449	2029/11/15
	US TREASURY N/B 2	2.0	20,000	22,918	2,547,648	2050/2/15
	US TREASURY N/B 2.625	2.625	26,000	29,887	3,322,329	2029/2/15
	US TREASURY N/B 6.25	6.25	26,000	39,325	4,371,367	2030/5/15
	US TREASURY N/B 7.875	7.875	33,000	35,152	3,907,577	2021/2/15
	US TREASURY N/B 8.75	8.75	20,000	20,214	2,246,995	2020/5/15
	US TREASURY N/B 8.75	8.75	48,000	49,548	5,507,839	2020/8/15
小 計					34,398,635	
カナダ			千カナダドル	千カナダドル		
国債証券	CANADA-GOV'T 1.5	1.5	40,000	40,650	3,124,826	2022/2/1
	CANADA-GOV'T 2.25	2.25	14,000	15,695	1,206,526	2029/6/1
	CANADA-GOV'T 9.75	9.75	15,000	16,593	1,275,561	2021/6/1
小 計					5,606,915	

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 0	—	19,000	19,616	2,352,612	2030/2/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	27,000	38,704	4,641,863	2028/7/4
		DEUTSCHLAND REP 6.25	6.25	22,000	27,722	3,324,723	2024/1/4
イタリア	国債証券	BTPS 4.5	4.5	22,000	24,567	2,946,341	2023/5/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 0.5	0.5	22,000	22,697	2,722,099	2029/5/25
		FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	21,000	24,811	2,975,693	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	16,000	19,275	2,311,674	2027/10/25
		FRANCE O. A. T. 6	6.0	15,000	20,116	2,412,625	2025/10/25
小 計						23,687,634	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 4.25	4.25	20,000	32,535	4,256,984	2039/9/7
		UK TSY GILT 5	5.0	14,000	17,284	2,261,545	2025/3/7
		UK TSY GILT 8	8.0	15,000	16,410	2,147,202	2021/6/7
小 計						8,665,732	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	11,000	13,881	919,229	2039/6/21
		AUSTRALIAN GOVT. 4.25	4.25	54,000	65,878	4,362,502	2026/4/21
		AUSTRALIAN GOVT. 5.75	5.75	20,000	22,495	1,489,671	2022/7/15
小 計						6,771,403	
合 計						79,130,321	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年3月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 85,240,321	% 83.2
コール・ローン等、その他	17,190,413	16.8
投資信託財産総額	102,430,734	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (79,893,331千円) の投資信託財産総額 (102,430,734千円) に対する比率は78.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=111.16円、1カナダドル=76.87円、1ユーロ=119.93円、1イギリスポンド=130.84円、1オーストラリアドル=66.22円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	102,430,734,142
コール・ローン等	12,891,707,957
公社債(評価額)	85,240,321,428
未収入金	3,584,115,623
未収利息	525,814,095
前払費用	188,775,039
(B) 負債	12,071,070,966
未払金	12,070,658,774
未払解約金	296,558
未払利息	1,458
その他未払費用	114,176
(C) 純資産総額(A-B)	90,359,663,176
元本	44,898,697,912
次期繰越損益金	45,460,965,264
(D) 受益権総口数	44,898,697,912口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,125円

- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2.0125円です。
- (注) 当ファンドの期首元本額は39,684,154,683円、期中追加設定元本額は6,240,012,108円、期中一部解約元本額は1,025,468,879円です。
- (注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣) | 43,335,812,653円 |
| Wソブリン毎月分配型(一般投資家私募、適格機関投資家転売制限付) | 632,628,221円 |
| 私募ソブリン15-01 (適格機関投資家専用) | 363,612,544円 |
| ワールド・ソブリンインカム (1年決算型) | 247,972,405円 |
| 私募ソブリン07-04 (適格機関投資家専用) | 140,190,008円 |
| ソブリンオープン (適格機関投資家専用) | 129,880,244円 |
| DCワールド・ソブリンインカム | 48,601,837円 |

○損益の状況 (2019年3月26日～2020年3月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,954,310,153
受取利息	2,956,794,136
支払利息	△ 2,483,983
(B) 有価証券売買損益	△ 21,298,761
売買益	6,523,591,421
売買損	△ 6,544,890,182
(C) その他費用等	△ 9,753,303
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,923,258,089
(E) 前期繰越損益金	37,367,574,345
(F) 追加信託差損益金	6,152,575,597
(G) 解約差損益金	△ 982,442,767
(H) 計(D+E+F+G)	45,460,965,264
次期繰越損益金(H)	45,460,965,264

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

該当事項はございません。

〈当ファンドのベンチマークについて〉

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。